

第21回東京運輸協定期委員会開催！

東京運輸協議会は、12月6日大井・中小企業会館で第21回定期委員会を開催しました。今年の定期委員会は検修の全面的外注化提案後の委員会となり、東京の運輸職場が今後の運動をどう進めるのか、重要な委員会となりました。長谷川副議長の司会で定期委員会成立宣言を行い、参加者全員で確認した後、座長に新鶴見機関区の新賀さんを選出し、進められました。



中里議長の挨拶は、

検修外注化に対する取り組み 勤務プロジェクト会議で議論してきた内容
分会をどう活性化させていくか 安全問題では首都圏で多発する輸送障害に関してと職場での死傷事故に対する対応等について提起されました。



来賓挨拶では東京工作協から増田事務長が参加していただき、10月28日に東京工作協の定期委員会が開かれ、その報告を中心に発言しました。

外注化の更なる推進に関しては、工場内での外注化された業務の労働条件が本体でやっていた時と比べひどい条件となっている。これを見れば、今回の外注化施策は容認できない。アスベスト問題では、車両から発見された後の対応がなされていない。組織拡大では工場関係でこの間3名の拡大をしてきた。交流会・レクリエーション等を重視し、これからも拡大行動を課題として中心にすえて取り組む。

東京地本からは山田執行委員が参加され、情勢等を中心に挨拶を受けました。

1047名不採用問題ではこの一年の流れを報告し、現在争っている裁判闘争勝利に向け署名運動を進めている。政治解決するためには、大衆運動を強める必要がある。安全・安定輸送に関しては、総点検運動を基にした要求を出して年末までにすべての職協の交渉を進めている。

検修外注化問題では要求の提出を12月15日までに各分会にお願いしたい。組織拡大では11月と12月に東京で拡大が出来た。今後も奮闘して決意が述べられました。

東日本運輸協から・木立議長の挨拶を受けました。

メインテーマである検修外注化問題では、提案後に取組んできた運動を報告、11月には東京でも検修専門委員会を開きその場で取組み方を報告してきた。今やるべきことは、職場でのこの問題での学習会・集会に取り組みと問題点を出し合うこと。そして他労組組合員と共に反対の声を上げていくことを強調しました。平成採の若い人たちの中からもどうなるのか不安の声が出ていること紹介し、反対運動を大きく伸ばしていく取組みを要請しました。

さらに、プロパー社員がこなしている業務についても低賃金で劣悪な労働条件のため人が集まらず技術の継承どころではない実態を出し、今回の提案は受け入れられないと結びました。

ダイヤ改正についても触れ、今年も要求を出していく時期になるが、乗務員勤務問題の本社交渉が塩漬けになっているので、是非各地方で要求を出し、本社交渉につなげていこうと発言があり。その後、中里議長からの経過報告・方針(案)定期と続き、討論に入りました。

主な発言は、

検修の外注化問題

技術の継承・異常時対応では問題が出るのでは
この間、2 回ほど検修専門委員会を開き、エリア本部から説明を受け意思統一してきたが、まだまだ全体像が浮かんでこない。

職場では不安感を抱いている人が多い

来年 4 月からのエルダー社員の職場通知が止まったまま。今回の理由と思うがいつになるのか。運転協としても、対策委員会を設置してはどうか。

職場で集会を開催してきたが、最初は発言があまりなかった。小まめな班集会も開催予定。「設備 2 1」や「駅あり」での対応を勉強するために関係者を呼んで学習会を開催してはどうか。東京からピラ配布等の行動を起こしてはどうか。

1047 名不採用事件関係では

この間署名運動に取り組んできたが、国労の運動が見えないと指摘された。今一度盛り上げていかなければ、解決の道筋が見えてこない。

一括和解後の取組み

まだまだ目に見えない差別が横行している。

闘い続けないと足元をすくわれる。

その他

E 2 3 1・2 3 3 系車両を使って保全の周期延伸ができないか調査している。この計画を職場で知らせることが大事。会社は常にコスト・ダウンを考えている。

安全面での調査も必要。

職場で運転士が停止位置を確認しづらいとの声が出ているが、会社は何もしない。事故が起きてからでは遅いので、対策を会社に要求している。

これらの発言を受け、まとめとして中里議長から

乗務員の死傷病に関する調査を強化していく。

、会社が得た利益は安全関しての投資に使い」を主張していく。

検修外注化に関しては、すでに外注化施策が行われている職種からの検証を学習していくことを考えていきたい。ピラ等も考えて、宣伝行動も考えていく。

等々のまとめとしました。

その後、決算・予算の提起があり、承認されました。

最後に役員改選に移り、今年議長・事務長の交代がありました。

新役員体制は

議長 安濃 敏雄（田町運転区）
副議長 渡辺 浩（東京電車区）
副議長 本間 裕（大船運輸区）
副議長 林 信行（田端機関区）
副議長 落合 直樹（豊田運輸区）
副議長 長谷川秀夫（大宮運転区）
事務長 保科 誠司（三鷹車両センター）

以上の新体制になりました。よろしくお願いいたします！



退任される中里議長・緑川事務長、大変ご苦労様でした！今後ご協力をお願いいたします！

東京運転協の皆さん共に力を合わせて頑張りましょう！